

本件は、大学記者会、文部科学記者会、エネルギー記者会、環境省記者クラブに資料配布いたします。

2005年10月19日

記者各位



東京大学先端科学技術センター



**新日本石油**  
Your Choice of Energy

新日本石油株式会社

**東大先端研組織連携 第一号**

**東大先端研と新日本石油株式会社が  
環境とエネルギーに関する新形態の組織連携を開始  
～知と技術の流動化を目指して～**

今般、東京大学先端科学技術研究センター（東京都目黒区、所長：橋本 和仁、以下東大先端研）と新日本石油株式会社（東京都港区、取締役社長：西尾 進路、以下新日本石油）は、双方の総合力を生かした新しい形態の組織連携を開始いたしました。

東大先端研は、変化する時代的要請を背景に、近時はゆるやかな組織連携を目指す「トライアル連携」を提案しており、本件はその第一号となります。これまでの連携が個別の共同研究を目的としていたことに対して、組織連携の目的は組織交流による「知と技術の流動化」とそれを通じた「研究能力の移転」を図ることにあり、共同研究はこれら目的の結果であると考えている点が最大の特徴です。

この組織連携により、「環境と経済が両立したエネルギーのベストミックス社会」に向けた革新的な技術を共同で研究・開発し、エネルギーと環境が調和したサステナブル（持続可能）社会の実現に寄与することを目指します。

新たに両者により設置するガバナンス委員会を中心に方針を審議し、講演会や研究室等の相互訪問、個別検討会などを行って共同研究のテーマを創出します。また、東大全学をはじめ、他大学・研究機関の研究・人材のネットワーク構築を図ります。さらに、開発・実用化フェーズでは、新日本石油が必要に応じて他企業との共同研究を視野に入れ、従来個別テーマの共同研究にはない、研究分野融合型の多様な連携を目指します。

**【組織連携の概要】**

**1. 内容と特徴**

- ・ 知と技術の流動化及び研究能力の移転
- ・ 組織連携を統括する「ガバナンス委員会」の設置
- ・ 人材の交流やディスカッションの重視
- ・ 「環境とエネルギー」に関する研究・人材ネットワークの構築
- ・ 分野融合的な研究シーズの共同発掘
- ・ 実用化を視野に入れた基礎から応用研究までの組織連携

**2. 期間**

2005年10月1日より3年間

**3. 資金**

1億円(3年分)

以上

---

問い合わせ：東京大学先端科学技術研究センター教授

経営戦略室産学連携担当 澤 昭裕 TEL:03-5452-5092/FAX:03-5452-5093

E-mail:sangaku@rcast.u-tokyo.ac.jp

---

新日本石油株式会社 経営管理第1本部

広報部広報グループ 栗原 崇 TEL:03-3502-1124/FAX:03-3502-9351

E-mail:takashi.kurihara@eneos.co.jp

---

添付書類

東大先端研-新日石 組織連携の進め方

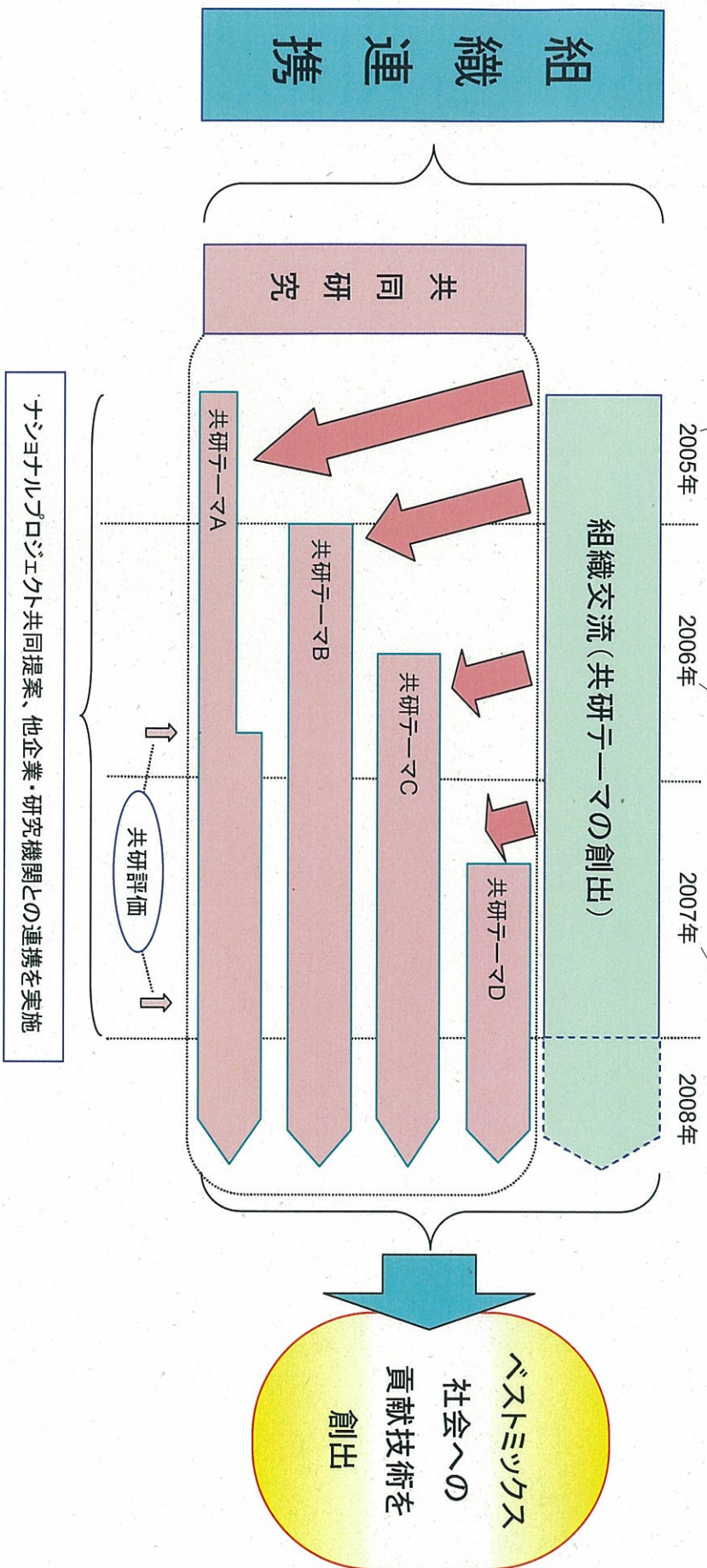
# 東大先端研-新日石 組織連携の進め方

研究・人材ネットワークの構築  
新日石ニーズと先端研シーズのマッチング

1～2の共同研究テーマの実施

共同検討領域と研究・人材ネットワーク拡大、先端融合型テーマ創出  
共同研究テーマ拡大

検討領域の絞り込みと深掘り  
共同研究テーマの絞り込み・重点化の検討



# 東大先端研—新日石 組織連携体制

